

令和3年度当初予算 主要事業

一 新たな時代の変化に備え、近未来を見据えたまちづくり

コロナ禍の時代変化にも柔軟に対応する日頃の備えや、ふるさと小樽の将来を志向したまちづくりを推進

令和3年度当初予算における主要な事業を、第7次小樽市総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」に沿って示します。

※《関連公約》と表示している項目は、市長公約の進捗に資する施策です（市長公約は別紙参照）。

I 安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
妊娠・出産・子育て支援の充実				
	不妊検査助成事業費	保険医療機関で実施した不妊検査に要した費用（自己負担分）について、2万円を上限に助成	700	保健所
	周産期医療支援事業費補助金	安定的な周産期医療体制の維持のため、地域周産期母子医療センターである小樽協会病院に対して支援	25,000	保健所
☆	産後ケア事業費	出産後1年未満の心身の不調又は育児不安等がある母親を対象に、助産師等による育児指導や日帰り型ケアを実施。令和3年度よりアウトリーチ型（訪問型）を追加実施	888	保健所
◎	医療的ケア児等総合支援事業費	医療的ケア児等の支援に携わる各分野の関係機関等で構成される検討会を設置	27	福祉部
保育環境の整備 《関連公約 1-① 保育環境の整備》				
◎	保育所等施設整備費補助金	杉の子保育園が行う、屋根及び外壁工事に係る経費の一部を補助	6,904	福祉部
子どもを守る仕組みの充実				
◎	子ども家庭総合支援拠点運営経費	子どもとその家庭や妊産婦等を対象に、子どもに関する専門的な相談や訪問等による継続的な支援を実施	155	福祉部
ひとり親家庭などへの支援 《関連公約 1-② 生活困窮世帯の子どもの学習支援》				
☆	子どもの学習・生活支援事業費（生活サポートセンター分）	ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施。令和3年度は試行として、令和2年度受講した中学校3年生（新高校1年生）を受け入れ	962	福祉部
☆	子どもの学習・生活支援事業費（こども福祉課分）		3,868	福祉部
学校教育の充実 《関連公約 1-② 不登校児の支援 1-③ スクールカウンセラー拡充、教育機器整備など学習環境を改善》				
	スクールカウンセラー関係経費	不登校児童生徒の増加を踏まえ、スクールカウンセラーを3名配置し、全小学校に月1回派遣することで、定期的に教育相談を行う機会を設ける。	2,786	教育部
	スクールソーシャルワーカー関係経費	生徒指導、教育相談体制の充実のため、学校だけでは解決が困難な、児童生徒のいじめや不登校などに対して関係機関と連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置	742	教育部
☆	就学援助費（小学校）	経済的理由によって、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、入学準備金、学校給食費、体育実技用具費、通学費等の援助に加え、令和3年度から新たにPTA会費の援助を導入	96,264	教育部
☆	就学援助費（中学校）		91,691	教育部
☆	部活動指導員配置促進事業費	教職員の働き方改革や部活指導員の充実を図るため、中学校の部活指導員として、専門知識のある人材を1名増員して9名を配置	2,502	教育部
◎	GIGAスクールサポーター活用事業費	学校におけるICTの活用推進を支援するため、専門的な知識を有する人材を活用	7,519	教育部
◎	ICT支援員活用事業費	学校におけるICTの活用推進を支援するため、学校職員をサポートする支援員を配置	2,570	教育部

	教育情報化推進事業費（ネットワーク関係経費（小学校））	GIGAスクール構想において整備した、1人1台端末環境の下で円滑な通信環境を確保するため、学習系ネットワークを各学校からインターネット接続するとともに、危険なサイトへのアクセスを防止するためのセキュリティ対策を実施	2,979	教育部
	教育情報化推進事業費（ネットワーク関係経費（中学校））		2,103	教育部
◎	指導者用デジタル教科書整備事業費（小学校）	デジタル教科書導入に向け、小・中学校各1校をモデル校として指導者用のデジタル教科書（1教科のみ）を整備、デジタル教科書を用いた公開授業を実施し、効果的な活用方法を検証	476	教育部
◎	指導者用デジタル教科書整備事業費（中学校）		281	教育部
◎	校務支援システム関係経費（小学校）	教員の業務効率化と学校運営の改善を図るため、校務支援システムを市内小・中学校6校に試験的に導入	542	教育部
◎	校務支援システム関係経費（中学校）		542	教育部
家庭・地域との連携・協働の推進				
☆	コミュニティスクール導入等促進事業費	学校運営や学校の課題に対して保護者や地域住民が参画する「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）を推進するため、導入校の活動支援や、導入準備校における地域説明会などを実施。令和3年度は、新たに高島小学校、朝里小学校、菁園中学校に導入	1,000	教育部
学校の耐震化や老朽化対策の推進 《関連公約 1-⑤ 学校の耐震化》				
◎	トイレ改修事業費（銭函小）	老朽化した校舎トイレの洋式化改修	59,800	教育部
◎	屋内運動場暖房設備改修事業費（銭函小）	老朽化した屋内運動場暖房設備の更新	15,500	教育部
	校舎等耐震補強等事業費（塩谷小）	校舎の耐震補強工事、校舎トイレの洋式化改修及び屋内運動場暖房設備の更新等	221,383	教育部
◎	校舎等耐震補強等事業費（忍路中央小）	校舎・屋内運動場の耐震補強工事に向けた実施設計	16,400	教育部
保育所と学校での感染症対策				
	感染症対策事業費（市立保育所費）	公立保育所5施設での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費	2,500	福祉部
	保育環境改善等事業費補助金	民間保育所18施設での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費を補助	9,000	福祉部
	学校衛生環境改善対策費（小学校）	市立小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費	1,349	教育部
	学校衛生環境改善対策費（中学校）		760	教育部

Ⅱ

誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
高齢者の生きがいつくりの推進 《関連公約 2-③ 「ふれあいバス」の継続》				
	ふれあいバス事業費	70歳以上の市民に対し、「ふれあいバス」（バス又は鉄道の利用助成）を交付。なお、事業を持続可能とするために、令和3年度からバス乗車の「ふれあい回数券」について、年間購入限度を12冊として見直し	158,656	福祉部
地域生活の支援体制の充実 《関連公約 2-⑨ 高齢者や障がい者のネットワークづくりと相談支援の強化》				
☆	地域生活支援事業費（相談支援）	障害者本人や家族からの障害福祉サービスに関する相談等を専門的な見地から応じる体制を24時間365日に拡充	34,700	福祉部
健康づくり施策の推進 《関連公約 2-② 健康寿命を延ばし、生涯現役社会を目指す》				
◎	第3次健康増進計画策定事業費	疾病予防・重症化予防を目的として。ライフステージに合わせて、関係者が相互に連携して推進していくための行動指針である健康増進計画の策定に向けた準備として、第2次計画の評価や第3次計画の策定のためのアンケートを実施	750	保健所
☆	特定健康診査等事業費	国保加入者の受診率向上のため、非課税世帯に加え、令和3年度から課税世帯についても自己負担額を無料とする。また、令和2年度に引き続き、10月末までの早期受診者全員にQUOカードを贈呈（11月以降は抽選）	87,700	医療保険部
☆	後期高齢者医療健康診査事業費	生活習慣病を軽症のうちに発見し、医療につなげ、重症化の予防を図る。令和3年度から課税世帯の受診時自己負担額を無料に拡充	28,958	医療保険部
予防接種体制の整備				
◎	健康管理システム改修事業費（ロタウイルスワクチン等情報連携システム改修）	ロタウイルスワクチンの定期接種化に伴い、健康管理システムを改修	3,740	保健所
健康危機管理体制の整備				
	新型コロナウイルス検査事業費	新型コロナウイルス感染症の検査体制を維持するため、試薬や消耗品の確保	5,547	保健所
	新型コロナウイルス感染症対策事業費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ウイルス検査の実施及び入院医療費の扶助	32,897	保健所
	受診・相談センター設置事業費	令和2年11月に設置した発熱者の24時間電話相談対応の受診・相談センターを引き続き外部委託により設置	75,500	保健所

Ⅲ

強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
森林整備の推進				
	森林環境整備事業費	森林の整備に関する経営管理集積計画の作成、森林機能の普及啓発及び木材利用の取組の推進 ・旭展望台周辺環境整備 ・手宮緑化植物園内休憩所に野外卓設置 ・おたる自然の村の木製アスレチック遊具更新	10,000	産業港湾部
資源管理型漁業の推進				
◎	漁業振興設備等整備事業費補助金	生産量の安定化を図るため、ホタテガイ養殖漁業に係る装置（水温リモート装置、有線式水温・潮流センサーほか）の設置費用の一部を補助	2,000	産業港湾部
地場産業の活性化と地場産品の販路拡大 《関連公約 3-① 一次産品の高付加価値化、商品開発支援、国内外への販路拡大》				
	水産物ブランド化推進事業費	小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組に対し支援 ・社員食堂でのおさかなフェア等でのPR ・小樽水産加工グランプリの開催及び受賞商品の宣伝や販路拡大への支援	2,700	産業港湾部
	海外販路拡大支援事業費	海外に向け販路拡大を目的とした札幌市との連携事業による海外物産展や展示商談会への出展支援	1,500	産業港湾部
	稼ぐ力向上実践事業費	市内及び後志管内の食料品関係事業者を対象として、全国規模の商談会への出展、商品特性や供給能力に適した新たな販路の開拓のほか、商品の磨き上げ相談により生まれた商品や小樽産品を掲載したチラシを作成し、道の駅等での設置・配布により通信販売を実施	7,100	産業港湾部
円滑な事業承継に向けた支援 《関連公約 3-③ 新規開業や事業承継の支援など中小企業・小規模事業者を振興》				
◎	事業承継支援事業費	事業承継手続に関する流れや各支援機関の支援等を掲載したリーフレットを作成の上、ヒアリングを実施し、支援が必要な対象者の掘り起こしを行う。また、経営改善、事業承継などをテーマとしたセミナーを開催	550	産業港湾部
企業誘致の推進				
	企業誘致促進事業費	首都圏の産業展などへの出展のほか、令和2年度に実施した企業誘致サポート事業のアンケートを基に企業訪問等を実施	2,000	産業港湾部
国内外への観光プロモーション 《関連公約 3-④ 札幌市との経済交流強化と後志の町村との連携促進》				
	観光誘致促進事業費補助金	小樽観光協会の各種事業運営に対する補助。公式ホームページの運営管理、ナイトマップの作成、冬季イベント、SNS等による海外・道内・道外へ向けた観光プロモーションを実施	5,400	産業港湾部
	観光広告プロモーション事業費補助金	観光客の誘致を目的とした小樽観光協会の新聞や雑誌などへの広告宣伝活動に対する補助	1,000	産業港湾部
	外国人観光客誘致広域連携事業費補助金	札幌市や運輸局、後志の各市町村と連携し、外国人観光客の誘致活動を行う実行委員会への補助 ・SNS等で東アジアを中心に本市の情報を多言語で拡散 ・台湾・香港の情報発信力のある人物を招請 ・フランスのメディア招請 ほか	1,300	産業港湾部
海水浴場の施設整備				
◎	施設維持補修費（銭函海水浴場）	海水浴場の安全対策に係る老朽化したコンクリート柱撤去及び架空放送設備一部張替	495	産業港湾部
「みなと観光」拠点の創出 《関連公約 3-⑥ 「みなと観光」の新たな魅力づくり 4-④ 第3号ふ頭の整備》				
	国直轄工事費負担金（第3号ふ頭岸壁改良事業費）	老朽化した施設の長寿命化及び大型客船の接岸を可能とするための改良工事 ・17番岸壁 海上地盤改良（L=183m）ほか ※国直轄事業 令和3年度全体工事費 579,000千円（うち市負担 1/3=193,000千円）	193,000	産業港湾部
	国直轄工事費負担金（第3号ふ頭泊地改良事業費）	岸壁の老朽化と合わせ、水深確保により大型客船の接岸を可能とするための泊地しゅんせつを実施 ・17号岸壁前面泊地 土砂処分一式 ※国直轄事業 令和3年度全体工事費 77,000千円（うち市負担 1.5/10=11,550千円）	11,550	産業港湾部

	クルーズターミナル整備事業費	第3号ふ頭の既存貨物上屋（市営上屋33号）の一部を改良し、クルーズ船寄港時におけるCIQ審査等のためのターミナル機能を整備 ・令和3年度 実施設計（現地調査含む） ・令和4年度 上屋改修工事ほか ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度未実施となった事業	15,400	産業港湾部
	駐車場等基盤整備事業費	第3号ふ頭の上屋解体跡地に、クルーズ旅客の円滑な移動を確保するバス・タクシー等の駐車場を整備 ・令和3年度 排水工、フェンス工ほか ・令和4年度 舗装工ほか	44,000	産業港湾部
◎	基部緑地整備事業費	賑わいや魅力づくりを目的に、市民や観光客が集うことができる空間として、第3号ふ頭基部を緑地として整備 ・令和3年度 実施設計、地質調査 ・令和4年度以降 緑地整備工事ほか	24,600	産業港湾部
港湾施設などの老朽化対策				
	国直轄工事費負担金（北防波堤改良事業費）	老朽化した施設の機能回復のための改良工事 ・令和3年度 根固工（L=100m/港外） ※国直轄事業 令和3年度全体工事費 100,000千円（うち市負担 1.5/10=15,000千円）	15,000	産業港湾部
	色内ふ頭老朽化対策事業費	老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施 ※その他下水道事業として640,600千円実施（事業費合計 876,700千円）	236,100	産業港湾部
	若竹地区防波堤改良事業費	老朽化した防波堤の機能回復のため、防波堤改良工事を実施 ・令和3年度 本体ブロック製作（L=17.6m） ・令和4年度以降 防波堤改良ほか	18,200	産業港湾部
港湾計画の改訂				
	港湾計画改訂事業費	小樽港の将来の利用方針や港湾施設の規模などを定める「港湾計画」の改訂	2,950	産業港湾部

IV

生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
安全で快適な道路網の確保				
	臨時市道整備事業費	市道の老朽化路線の更新、溢水対策などの道路改良 ・令和3年度予定箇所 長橋中学校南団地線ほか全20路線	350,000	建設部
	橋りょう長寿命化事業費	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの修繕等を計画的に行い、長寿命化と維持管理コストの縮減を図る。 ・銭函高架橋 耐震化工事 ・浅草橋（街園部）、銭函第一架道橋、上朝里橋、真砂橋 修繕工事 ・花園橋、紅葉橋、俣木の橋、桃内橋 設計業務 ・小樽内橋 解体撤去工事	413,400	建設部
効率的な雪対策の推進 《関連公約 2-① 主要な路線を優先し、納得いただける除排雪を目指す》				
	除雪費	冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先し、計画的で効率的な除排雪を実施	1,592,000	建設部
	ロードヒーティング更新事業費	老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新 ・令和3年度 高商通線、入船南線、天狗山登山線	100,657	建設部
	建設機械整備費	安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に更新・増強し、除排雪業務受託者に貸与 ・ロータリ除雪車 1台更新 ・凍結防止剤散布車 1台整備	53,816	建設部
新幹線を活用したまちづくり 《関連公約 4-⑤ 新幹線新駅と中心市街地との連携などの取組を開始》				
☆	北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費	北海道新幹線の開業効果を最大限活用したまちづくりを目的とする官民連携の協議会を開催。令和3年度は、新小樽（仮称）駅の利用者増加に向けた調査研究及び戦略検討を重点的に推進	2,100	建設部
◎	新小樽（仮称）駅周辺駐車場等整備関係事業費	市が主体となって整備する新小樽（仮称）駅周辺駐車場等について、多角的に設計検討を実施	16,533	建設部
効率的なまちづくりに向けて				
	立地適正化計画推進経費	中心拠点と複数の地域拠点到都市機能が集約され、それらが交通ネットワークで結ばれた効率的なまちづくりを進めるための、「立地適正化計画」策定（令和4年度予定）に向け、策定委員会の開催や市民アンケート調査の実施	10,937	建設部
鉄道駅のバリアフリー化				
	鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金	鉄道駅バリアフリー化のための施設整備に係る費用の一部を補助（補助率：国1/3、市1/3、事業者1/3） ・南小樽駅：エレベーター新設など	46,000	建設部
持続可能な交通ネットワークの構築 《関連公約 2-④ 公共交通ネットワークを維持》				
	地域公共交通活性化事業費	「地域公共交通網形成計画」に基づく市内公共交通の確保・維持に向けた施策を協議する協議会を開催するとともに、協議会が実施する施策に対して補助 ・バスロケーションシステムの周知パンフレット作成等	1,870	建設部
	後志地域生活交通確保対策事業費補助金	小樽市への通勤、通学等で必要な公共交通手段である中央バス積丹線の路線の確保・維持のため、事業の一部を補助	633	建設部
◎	生活バス路線運行費補助金	市民生活に重要な役割を果たしている市内路線バスの確保・維持のため、生活バス路線を運行する乗合バス事業者に対し補助	99,000	建設部

防災対策の推進 《関連公約 2-⑤ 市の体制整備を含め防災力を強化》				
☆	防災関係経費（避難所機能強化事業費）	液体ミルクの備蓄開始のほか、使用期限を迎える備蓄食料や救急用品の更新及び間仕切りテントの配備等	3,250	総務部
	防災関係経費（避難支援事業費）	津波ハザードマップの増刷、土砂災害ハザードマップや「防災パンフレット」（新規）の作成・配布等	1,200	総務部
☆	防災関係経費（防災訓練関係経費）	避難所運営訓練や冬季避難所訓練のほか、小樽市総合防災訓練では新たに災害対策本部を想定した屋内会場と活動現場を想定した屋外会場の2会場同時進行による訓練を実施	400	総務部
消防力の充実強化				
◎	高機能消防指令センター機器更新事業費	高機能消防指令センターの自動出動指令装置などの機器更新	110,000	消防本部
	機動力増強・近代化事業費	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台の更新	61,000	消防本部
◎	消防水利施設点検業務費	花園3丁目1番小樽警察署花園交番向に設置の防火水槽の点検調査	3,000	消防本部
消防団の強化				
	消防団員安全装備品等整備事業費	小型消防ポンプ1台の更新	1,390	消防本部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
ごみ・資源物の適正処理				
☆	資源物分別収集事業費	一般家庭から排出される、資源物の収集について、北しりべし広域クリーンセンターにおいて「搬入不適合物」扱となっているリチウムイオン電池を、令和3年度から追加。リチウムイオン電池単体は、他の電池と一緒に路線収集、内蔵型等で分解不可の場合は、消防署所及びサービスセンターなどで引取り	181,400	生活環境部
旧ごみ焼却場及び清掃事業所の解体				
	旧ごみ焼却場解体事業費	北海道新幹線新小樽(仮称)駅前駐車場整備計画に伴う、旧ごみ焼却場の解体 ・令和3年度 地歴調査等	4,796	生活環境部
◎	清掃事業所第2事務所解体事業費	北海道新幹線新小樽(仮称)駅前駐車場整備計画に伴う、清掃事業所旧第2事務所の解体 ・令和3年度 調査及び解体工事	23,934	生活環境部
公園整備の推進 《関連公約 1-① 子どもたちが安心して利用でき、癒される公園整備》				
◎	公園施設長寿命化計画推進経費	令和4年度の「第2次小樽市公園施設長寿命化計画」策定業務に向け、市内93公園の施設調査を実施	9,600	建設部
	都市公園安全・安心事業費	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具を地域住民のニーズを踏まえて更新 ・令和3年度 かもめが丘公園、天神公園、赤岩北公園等	43,000	建設部
	トイレの洋式化等整備事業費 (みどり公園ほか11か所)	市内公園(みどり公園、ほしの公園、ヤチダモ公園など12公園)のトイレの洋式化等整備	5,000	建設部
緑の基本計画の策定推進、緑化植物園施設の整備				
◎	緑の基本計画推進経費	令和4年度の「第2次小樽市緑の基本計画」策定に向けての取組を実施 ・令和3年度 現況調査(緑被率など)、策定委員会開催ほか	7,517	建設部
◎	施設維持補修費(手宮緑化植物園)	「緑の相談所」の展示室を、テーブルベンチを設置した利用者休憩スペースに改装。また、展示室と事務室に間仕切り壁を新設	566	建設部
小樽公園の駐車場確保に向けて 《関連公約 4-① 公共施設の再編整備 4-② 市有財産の有効活用》				
◎	旧緑小学校敷地駐車場整備事業費	総合体育館なども含めた小樽公園利用者の当面の駐車場確保のため、旧緑小学校を解体後、駐車場として整備 ・令和3年度 駐車場整備(路盤整備、夜間照明施設の設置)	24,200	建設部
歴史的建造物の保全と活用 《関連公約 3-⑨ 歴史的な街並みを活かした、新しい観光拠点づくり》				
◎	第3倉庫活用ミーティング補助金	北海製罐第3倉庫の活用方策を検討するため、小樽商工会議所と小樽観光協会が主体となって設置した「第3倉庫活用ミーティング」が実施する事業に対する補助 ・施設の劣化調査 ・シンポジウムの開催	5,360	総務部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
総合博物館、美術館の利活用の促進				
◎	本館常設展示改修事業費（総合博物館費）	「小樽市まちづくり事業資金基金」（北海道ガス㈱からの寄附金）により、総合博物館本館2階に気象衛星ひまわり8号の画像データを閲覧できる装置の設置	1,500	教育部
	収蔵車両等補修事業費	総合博物館が所蔵する鉄道車両の補修 ・令和3年度 除雪車両キ718（ジョルダン車）	4,075	教育部
	アイアンホース号維持補修費	アイアンホース号の運行における安全の確保 ・アイアンホース号のボイラー加減弁の修繕 ・軌道踏切の修繕	2,848	教育部
◎	施設改修事業費（美術館費）	美術館の施設維持補修 ・外壁補修 ・塗装工事 ・敷地内コンクリート塀一部撤去工事	29,000	教育部
文化芸術の振興				
	特別展開催経費（文学館費）	市民や観光客に、優れた文学に接する機会を提供 「朝倉かすみ展（仮）」	221	教育部
	特別展開催経費（美術館費）	市民や観光客に、優れた美術に接する機会を提供 ・「池田良二～海霧の空間（仮）」 ・「院展・日展に進出した北海道の日本画家～小林コレクション②（仮）」 ・「舞踏と美術～田仲ハルと舞踏に魅せられた美術家たち（小樽晩夏光）（仮）」 ・「2つのピント 羽山雅愉×高野理栄子」展（仮）」	3,031	教育部
文化財の適切な保存				
	重要文化財旧日本郵船小樽支店保存修理工事費	小樽市を代表する重要文化財である建造物の保存・活用を図るための耐震補強工事及び保存修理	294,073	教育部
スポーツ施設の整備 《関連公約 4-⑥子供たちのスポーツ振興に寄与する体育施設の整備》				
	手宮公園競技場整備事業費	日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場として必要な付帯設備（円盤・ハンマー投用囲い）の更新	11,624	教育部

Ⅶ

その他主要事業

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
地域コミュニティ活動の拠点整備				
	町内会館等建設助成金	赤岩会館、花園会館の改修工事及びベイビータウン町内会館の新築工事費の一部を助成	14,020	生活環境部
ふるさと納税の促進				
	ふるさと納税関係経費	「ふるさと納税」制度による寄附者へのお礼として地場産品を贈呈する。令和2年度に増設したポータルサイトを含め、「お礼の品」の拡充等を行い、更なる寄附件数増を目指す。	170,000	財政部
組織改革による施設改修等				
◎	組織改革関係事業費（移転等経費（総務部分））	組織改革による建設部、教育委員会などの執務室移転に伴う経費及び電話移設工事等	14,186	総務部
◎	組織改革関係事業費（移転等経費）（教育部分）	教育委員会が新庁舎（旧商業高校校舎）へ移転することに伴う消耗品（カーテンなど）の購入	1,000	教育部
◎	組織改革関係事業費（外局内線電話通信設備改修事業費（光回線導入経費））	組織改革に併せ、内線電話通信設備の整備に付随し、光回線を新たに導入するための配線ルート構築工事	484	総務部
◎	組織改革関係事業費（外局内線電話通信設備改修事業費（工事費））	組織改革に併せ、内線電話通信設備をアナログ回線から光回線に切り替えるための改修	23,000	総務部
◎	組織改革関係事業費（本庁舎改修事業費）	組織改革による執務室の変更等に伴う改修	12,000	総務部
◎	組織改革関係事業費（こども発達支援センター改修事業費）	こども発達支援センターが教育委員会新庁舎（旧商業高校校舎）へ移転することに伴う改修	74,000	福祉部
◎	組織改革関係事業費（建設部庁舎改修事業費）	組織改革により建設部が現教育委員会庁舎へ移転することに伴う改修	30,000	建設部
	組織改革関係事業費（教育委員会庁舎等改修事業費）	組織改革により教育委員会が旧商業高校校舎へ移転することに伴う改修	50,422	教育部
公共施設等の老朽化対策と将来に向けた最適化 《関連公約 4-① 公共施設の再編整備》				
	個別施設計画策定事業費	再編対象施設のうち、「本庁舎別館」及び「総合体育館」の整備方針及び実施時期等を示す「個別施設計画」を策定	5,000	財政部
◎	高等看護学院移転改修事業費	高等看護学院が教育委員会新庁舎（旧商業高校校舎）へ移転することに伴う改修	94,061	財政部
◎	市民会館大規模改修事業費	小樽市公共施設長寿命化計画に基づき、令和13年度以降の第2期での建替えを見据えた設備等の改修工事 ・令和3年度 音響設備改修工事ほか	68,000	生活環境部
	葬斎場再整備事業費	令和2年度からの火葬炉使用料有料化に合わせ、同年度から計画的に大規模改修を行い、施設の延命化を図る。 ・令和3年度 流れ屋根及び陸屋根改修	110,000	生活環境部
◎	トイレの洋式化等整備事業費（勤労女性センター）	トイレの洋式化等整備及び給水管の取り換え工事 ・小便器用自動洗浄弁、手洗器用自動水洗、手摺設置など	7,500	生活環境部
データの確実な保全と効率的なシステム運用				
◎	空調設備更新事業費	電算機械室内を、サーバ機器の正常稼働に適した温度・湿度に保つ空調設備の更新	27,000	総務部
◎	戸籍総合システム運用経費	システムの更新に合わせ、セキュリティの向上やデータの確実な保全などのため、クラウド型の戸籍総合システムを導入	24,249	生活環境部
銭函駅前広場の施設整備				
◎	銭函駅前広場環境施設改修事業費	JR銭函駅前に設置されていた「炎の塔」の再設置が困難となったため、代替施設となる記念碑を設置	2,000	建設部
衆議院議員総選挙の管理執行				
◎	衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の管理執行 ・衆議院議員の任期満了 10月21日	56,180	選挙管理委員会

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
	感染症対策事業費（市立保育所費）	公立保育所5施設での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費	2,500	福祉部
	保育環境改善等事業費補助金	民間保育所18施設での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費を補助	9,000	福祉部
	学校衛生環境改善対策費（小学校）	市立小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策のために必要な消耗品購入に要する経費	1,349	教育部
	学校衛生環境改善対策費（中学校）		760	教育部
	新型コロナウイルス検査事業費	新型コロナウイルス感染症の検査体制を維持するため、試薬や消耗品の確保	5,547	保健所
	新型コロナウイルス感染症対策事業費	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ウイルス検査の実施及び入院医療費の扶助	32,897	保健所
	受診・相談センター設置事業費	令和2年11月に設置した発熱者の24時間電話相談対応の受診・相談センターを引き続き外部委託により設置	75,500	保健所

市長公約一覧

1 次世代をつくる

安心して子どもを産み育てることができ、すべての子どもたちが能力や可能性を発揮できるまちづくり

- ① 子育て世帯に寄り添い、安心して産み育てる環境づくりのため、子育て世代包括支援センターの設置や保育環境の整備に取り組み、子どもたちが安心して利用でき、癒される公園の整備を進めます。
- ② 不登校問題や障がいをかかえる子どもをお持ちの家庭に寄り添い、支える体制を整えます。また、生活困窮世帯の子どもに対し学習支援を実施し、学習機会の提供による学力や学習意欲の向上を支えます。
- ③ 専門的な知識を持った外部人材を積極的に登用するとともに、スクールカウンセラーなどの拡充配置、教育機器の整備など、教員の働く環境や児童生徒の学習環境の改善に努めます。
- ④ 文化、芸術、スポーツに取り組む児童生徒の活動を支援し、豊かな感性を育み、潜在的な可能性を引き出す教育環境づくりを進めます。
- ⑤ 少子化に伴う小・中学校の統廃合の考え方を示した適正配置基本計画を社会状況や教育環境の変化、さらには、地域における学校の役割などまちづくりの観点を踏まえて議論します。

2 安全をつくり、安心を生む

すべての市民が健康で、生きがいと夢を抱きながら、安心・安全に暮らすことができるまちづくり

- ① 近年、降雪期が早まっていることから「除雪対策本部」の設置を前倒して、バス路線やスクールゾーンなどの主要な路線を優先し、市民の皆さんに納得していただける除排雪を目指します。
- ② 高齢の方が地域社会との接点を持ち、健康寿命を延ばし、元気に生活できる生涯現役社会を目指します。
- ③ 高齢者の外出支援のための「ふれあいバス」は、利用者、バス事業者の話を聞きながら継続します。
- ④ 「通院」や「買い物」の足を守るためJR、バス、タクシーなどの公共交通ネットワークを維持します。
- ⑤ 災害による人的被害軽減のため、町会の防災訓練を支援し、迅速で的確に避難行動がとれるよう、市の体制整備を含め防災力の強化を図ります。
- ⑥ 高齢者や障がいを持った方が安心して利用できるように公共施設などのバリアフリー化に取り組みます。
- ⑦ 福祉、医療、介護などの相談窓口を一本化した総合相談窓口を新設します。
- ⑧ 高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」を構築し、福祉、医療、介護等が連携した支援に取り組みます。
- ⑨ 高齢者や障がい者の権利を守るため、地域の官民が一体となったネットワークをつくり、相談支援の強化を図ります。

3 にぎわいをつくる

豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民に根ざした観光のまちづくり
地域経済を支える中小企業が元気に事業を続けることができるまちづくり

- ① 農業や水産業による一次製品の付加価値を高め、ブランド化を進めるとともに、新商品の開発を支援し、物産展や展示会などを通じて国内外に販路の拡大を進めます。
- ② 商店街や市場の特性を活かし魅力づくりを進めるとともに、小樽を訪れる観光客の回遊性を高めるなど中心市街地のにぎわい形成に努めます。
- ③ 市内経済の活力を維持するため、新規開業や事業承継を支援するなど市内の中小企業、小規模事業者の振興策に取り組みます。
- ④ 札幌市との連携協定を結ぶなど経済交流を強化するとともに、後志の町村との連携を促進します。
- ⑤ 国内フェリー航路や中国との定期コンテナ航路を堅持するとともに、国が進めるロシアと日本との経済協力における役割の一端を担い、輸出入を通じて小樽港の振興を図ります。
- ⑥ 市街地に近接するなどの小樽港の立地特性を活かし、クルーズ客船の誘致を積極的に進め、「みなと観光」の新たな魅力づくりに努めます。
- ⑦ 外国人向けの多言語表示、ホスピタリティ意識の向上、観光地周辺の除排雪の徹底など安心で安全な国際観光都市を目指します。
- ⑧ 基幹産業である観光の更なる拡充のため市内観光関連組織の見直しを検討するとともに、国際観光都市小樽として外国人観光客の受け入れ態勢の強化を図ります。
- ⑨ 歴史的な街並みを活かし、旧国鉄手宮線、北運河と第3号ふ頭を一体的に整備するとともに、日本遺産登録された北前船寄港地としての魅力を発信し、小樽の新しい観光拠点づくりを進めます。
- ⑩ 市街地から至近距離にある天狗山や朝里川温泉地区の魅力をアピールし、夏冬通して利用可能なりゾート地として更に充実するよう開発を支援します。

4 未来をつくる

公共施設や小樽駅前、小樽港の整備、新幹線の活用など、人や物が活発に交流するまちづくり

- ① 市役所庁舎や市民会館など老朽化し耐震強度が不足している公共施設を、市民の皆さんのご意見を聞きながら計画的に再編整備を進めます。
- ② 廃校や用途が廃止された施設、土地などの市有財産を地域の発展のため有効活用を図ります。
- ③ 福祉センター、女性センター、生涯学習プラザ、さらには自立した高齢者の活動拠点など、生きがいづくりや生涯学習のための機能を集約するよう再編整備を進めます。
- ④ にぎわいによる街の活力を維持するため民間の力を活用し、小樽駅前地区や小樽港第3号ふ頭の整備を進めます。
- ⑤ 新幹線の駅周辺の開発や中心市街地との連携など、まちづくりに向けた具体的な取り組みを開始します。
- ⑥ 体育館、プールなど市民の健康増進と子供たちのスポーツ振興に寄与する体育施設の整備を計画的に進めます。